

# マロニエ

福島市立平野中学校 学校だより No.3

文責：校長 佐藤 裕子



しんぎたい

## 心技体。

6月4日(火)5日(水)、福島支部中体連総合大会が行われました。どの部も本当によくがんばりました。しかし、試合に勝つということは難しい…互いの「勝ちたい」気持ちがぶつかり合うのだから。そのような中、次の県北大会への出場権を得た男女卓球部・女子剣道部、おめでとうございます！ソフトボール部・特設水泳部を含め、6月18日・19日実施予定の県北大会での健闘を心から祈ります。

そして、惜しくも勝ち上がることができなかったチームのみなさん。力の限り、よく戦い抜きました。勝負は時の運、「やるだけやった」と胸を張ってほしいと思います。この“悔しい気持ち”が人を成長させることは間違いありません。次につなげていきましょう。

保護者の皆様の熱い応援、本当にありがとうございました。子供たちのがんばりの大きな支えになりました。心からお礼申し上げます。



■心技体…精神力(こころ)・技術(わざ)・体力(からだ)すべてバランスが整ったとき、最大限の力が発揮できるということ。英語で言うとメンタル・テクニカル・フィジカルの3つ。試合で勝つには、この心技体を高めていけばいい…今回うまくいったことは何か、足りなかったことは何か、振り返ることが成長の糧となります。

## 【校長メッセージ】選手のみなさんへ

- 「心ひとつに戦うってこういうことだ…」円陣を見て胸が熱くなりました。点数が入るたび、控え選手も含め、皆で喜ぶ姿がありました。自分はひとりじゃない、ってこういう瞬間に実感できるのだと思いました。こんなに大勢の仲間と、ひとつの目標に全力で立ち向かうことができるって、部活動ならではのことで、素敵なことだと思いました。
- 「勝った!」「やった!」…みなさんの努力が報われる瞬間に立ち会うことができ、本当に幸せでした。努力が報われるということは、そう簡単なことではないからです。
- 「神がかっていた」…第3位になり、見事、県北大会出場を果たした女子卓球部顧問の柴田先生がおっしゃいました。もし神様がいたら、今回、平野中に微笑んでくださったことに感謝して、またさらなる努力を重ねてほしい、そして、また神様を味方につけてほしいと思いました。
- 試合に勝てなくても、努力し、流した汗、流した涙は、「あなた」という人間を大きく育ててくれたはずで、この悔しい気持ちは絶対に忘れないでほしいです。一生懸命やったからこそ、悔しいのです。
- 印象深いシーンがありました。顧問の先生が、試合中「それでいいんだよ。できたじゃない!」と褒めてくださいました。「このチームで戦うのはこれが最後だよ!」思わず、涙が流れてしまいました。愛情いっぱい、顧問の先生はちゃんと見てくださっているのです。見ているからこそ、成長してほしいからこそその厳しさなんだなあと、ジーンとききました。
- けがをしている足首にぐるぐるテーピングを巻いて、最後まで仲間とともに戦い抜く選手がいました。気迫のようなものが、彼の眼に表れていました。心からすごいなあとと思いました。
- ご家族の皆様とともに応援でき、楽しかったです。くれぐれもよろしくお伝えください。様々な方々の応援あつての試合(舞台)です。感謝の気持ちをしっかり伝えましょう。

## ～応援ありがとうございました～

部活動		対戦結果
野球部		VS 福島三中 0-8 惜敗
女子バレーボール		VS 川俣中 1-2 惜敗 VS 信夫中 2-1 快勝 VS 岳陽中 1-2 惜敗 VS 附属中 0-2 惜敗
女子バスケットボール		VS 川俣中 54-29 快勝 VS 松陵中 19-59 惜敗 VS 福島一中 19-88 惜敗
男子バスケットボール		VS 信陵中 33-65 惜敗 VS 川俣中 63-37 快勝 VS 吾妻中 36-51 惜敗
男子卓球	団体戦 男子ダブルス 男子シングルス	VS 福島一中 1-3 惜敗 VS 福島三中 0-3 惜敗 ※予選リーグ敗退 山田 ・浅野 組 ベスト16(県北大会出場) 丸山 ・川又 組 ベスト8(県北大会出場) 清野 ベスト8(県北大会出場)
女子卓球	団体戦 第3位 女子ダブルス	VS 信陵中 3-2 快勝 VS 吾妻中 3-2 快勝 VS 附属中 0-3 惜敗 菅野 ・高橋 組 第3位(県北大会出場)
男子剣道		VS 信夫中 惜敗
女子剣道		敗者復活戦 VS 信夫中 快勝(県北大会出場)
ソフトテニス	男子個人戦 男子団体	市丸 ・高橋 組 3回戦進出 惜敗 VS 信陵中 2-1 快勝 VS 野田中 0-3 惜敗 VS 吾妻中 1-2 惜敗

